第２学年通信

克己復礼 （第３号）

令和２年８月４日発行
福岡県立山門高等学校
第二学年主任　本園　明宏

「ようやく」1学期が終わりました。例年なら「あっという間」に1学期が終わっていました。4月に初々しい1年生を迎え、5月に中間考査や3年生の引退試合を終え、6月に大運動会で全員が完全燃焼し、7月の期末考査で1学期を終える。それが例年の山門高校の1学期でした。一つ一つの行事を行っている時は忙しく感じるのですが、全て終わってみると、本当にあっという間なんです。しかし、今年はそれらがありませんでした。初めての休校に先の見えない長さを感じ、今年の1学期は「ようやく」という感覚を持ってしまいました。長く社会に暗い影を落としているコロナに対して、どうしてもネガティブな思考になってしまったなと反省する次第です。

ですから、これから迎える2学期では、もっと前向きになっていきたいと思います。最近好きなCMがありまして、松岡修造さんが歌っているサントリーのCMです。特に歌詞に勇気づけられます。

「今まで通りとはいかないかもしれない。でも、一歩ずつ行きましょう！今こそなんとか元気を！」

この歌詞に、学校生活も一緒だなと感じます。毎日流れるメディアの情報から、私たちはコロナが簡単には収束しないこと、ワクチンが早期にはいきわたらないこと等を、何となく理解しつつあります。そのような状況である以上は、いつまでも後ろ向きに考えるのではなく、コロナ対策を万全にしながら、できることを一歩ずつやっていくしかないわけです。未曾有のコロナ体験で1学期を手探りに終えた今、新しい生活様式の中で、いかに学校生活を有意義なものにしていくか、全力で考えていきたいと思います。今回の学年通信では、そうした新しい学校生活の希望の光として、新しい生徒会役員を紹介しています。一人一人が意欲に満ちており、先輩達の思いをつないで、山門高校を盛り上げようと意気込んでいます。宜しくお願いします。

（第2学年主任　本園　明宏）

生徒会長選挙

7月2日（木）の7限に生徒会長選挙が行われました。今年はコロナ対策のため、体育館に全校生徒が集まっての立会演説会という形式ではなく、校内放送を使用した選挙でした。まだ1年生に顔も覚えてもらえていなかった立候補者たちは、選挙前の１週間に朝校門で挨拶運動を行うなど、１年生も安心して選挙に参加できるよう一生懸命がんばりました。当日のスピーチでは、公約や内容面で三者三様の違いはあるものの、全員が甲乙のつけがたい素晴らしいスピーチを行い、投票者の頭を悩ませたと思います。選挙の結果、2年3組の髙田朱夏さんが選ばれましたが、落選した2人も含めて、今後の3人の活躍が大変期待される、有意義な選挙だったと感じられました。

→髙田さんの応援演説を務めた田中英輝君と生徒会長になった髙田朱夏さん。

↓山門高校に必要なことを2点に集約して、簡潔で説得力のあるスピーチを行った、2年2組の甲斐田星さん。

↓個性とは何かという話から、山門高校を一人一人の個性が活きる学校にしたいと訴えた、2年4組の斉藤羽音さん。

←山門高校を楽しい学校にしたいと明るくスピーチを行った2年3組の髙田朱夏さん。

↑甲斐田さんの応援演説を務めた2年2組の井上舞さん

↑斉藤さんの応援演説を務めた2年5組の藤丸雪那さん

↑2年3組の田中英輝くん

がんばれ！生徒会長！

生徒会役員紹介

【生徒会長挨拶】

みなさんこんにちは。このたび生徒会長になりました、2年3組の髙田朱夏です。私はこの山門高校をディズニーランドのように明るく楽しい場所にしたいと思います。今、このような状況の中、思いっきり楽しむことはできません。しかし今だからこそ、何ができるのかというできることを考えて行動していきたいと思います。しかし、決して私一人ではできません。みなさんの理解と協力が必要です。みなさん1人1人が生徒会ですので、ご協力よろしくお願いします。これから大変だと思いますし、とても不安ですが、みなさんに選んでいただいたからには、しっかり全力で頑張ります。これから1年間よろしくお願いします。

生徒会長　2年3組
髙田　朱夏　ソフトテニス部
（昭代中）

新規

2年1組　船津　真菜美
弁論放送部　（橘中）
「一年間生徒会役員の活動を一生徒として見てきて、私の憧れであり、目標でした。生徒会活動では、部活動で培った人前でイキイキと話す力を発揮して、自分と山門生1人1人が成長できる1年にしていきます。」

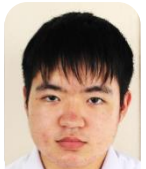
新規

2年2組　住野　礼於奈
食物部　（八女学院中）
「私の長所は、積極的で、コミュニケーション能力が高いことですが、自分の長所を精一杯活かし、生徒会一丸となって山門高校を盛り上げていきます。よろしくお願いします。」

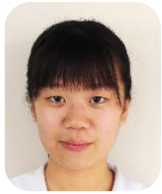
新規

2年4組　林　茉奈
剣道部　（筑後北中）
「私が生徒会役員として頑張っていくことは、みんなをリードできる存在になることです。そのためには、私生活を真面目に取り組み、何事にも全力でやり抜くことです。」

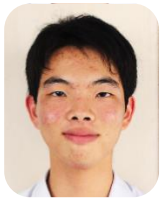
2年1組　栗田　望稔
弓道部　（大川東中）
「私は生徒会の一員として山門高校を真の〈やま盛り〉にしていきたいと考えています。山門高校全体を見通し、生徒会全員で行事や運営に取り組みたいと思います。私自身も未熟な所があるので、事前準備や声出し等、身近なことから直していきます。」



2年2組　樺島　知希
ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部　（瀬高中）
「私は声の大きさに自信があるので、生徒会の活動を通じながら、自分の強みをいかしたり、不足している部分を直したりしながら、できることに全力で取り組みます。そして、今年は行事が少なくなってしまったので、質の良いものにできるよう頑張ります。」



2年2組　井上　舞
吹奏楽部　（瀬高中）
「私の長所は粘り強い所です。その長所をいかして、学校行事や日々の学校生活での生徒会の行事を、責任を持ってやり遂げます。そして、もっとどうしたら山門生が楽しめるのかを常に考えて行動します。これから約1年間自分ができることを精一杯頑張ります。」



2年3組　黒田　楓翔
ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部　（瀬高中）
「私は去年1年間で学んだ技術をもって山門高校に関わる全ての人の想像を超えるものを創り出すと同時に、次世代の人材の育成に大きく力を入れ、山門高校の良さを伝えられるよう精一杯頑張っていきます。」

2年4組　斉藤　羽音
弓道部・弁論放送部
（瀬高中）
「生徒会活動を通して、更なる山門高校の発展に貢献していきたいと思います。昨年度の生徒会の先輩方の活動はとてもレベルが高いものだったので、それに負けない活動を役員を始めとする生徒皆で行っていきたいと思います。」

新しい授業風景～探究活動～

昨年、市役所等多くの場所にフィールドワークで足を運んだ探究活動。その探究活動も今年は去年どおりにはできません。そのぶん、今年は探究の時間にスマホを用いるなどして調べ学習に取り組んでいます。

↓今年の探究活動は、自分のテーマを見つけることから始まりました。

↓タブレットも使用します。

↓少し距離をとって、発表活動もしています。

↓スマホで調べても簡単に答えが出ないことを、個人のテーマにする予定です。

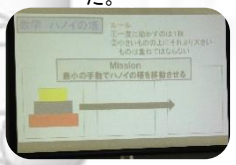
↓自分だけのテーマというのがなかなか難しいようです。

↓お互いのテーマに、助言や感想を述べます。

理数コース　山門LABO

第1回　浦田先生（6/20）
第2回　浦田先生（6/27）
第3回　武本先生（7/23）

「山門LABO」と題して、「土セミ」の3限目に理数コースの特別講座を行っています。数学や理科の先生たちが、理数コース生にもっと教科の魅力を味わってほしいと、普段の授業とは一味違ったスタイルで講座を実施しています。実験やグループ研究を中心とした体験的な学びが、理数コース生にワクワクドキドキを与えています。また2年生と1年生の理数コース生が一緒になって講座を受けており、先輩と後輩のつながりも生まれました。



6月20日に受けた講座は「ハノイの塔」。円盤を動かした場合の最小回数について、実際に円盤を動かさずに計算で求められることを学びました。

6月27日に受けた講座は「One Stroke & Knight Tour」。一筆書きや、チェスの動きから、数学における「不可能性」の証明について学びました。

↓第1回と第2回の講師を務めた浦田先生。

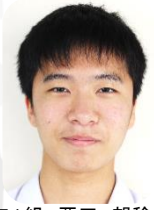
↓先輩として後輩を優しく指導しながら、一緒に学ぶことができました。

↓知的好奇心をそそられる楽しい講座であり、班で協力して問題に取り組めました。

↓マスク越しからでも伝わるほど、普段より笑顔があふれる様子でした。

日本の次世代リーダー養成塾

「高校生のための　日本の次世代リーダー養成塾」は、毎年夏に2週間の宿泊を伴う校外研修です。リーダーとして必要なことは何かということを、世界で活躍する一流講師陣のご指導のもと、全国から集まった高校生たちと学びます。今年はコロナの関係上、事前講習はオンラインで行われ、宿泊研修も9月19日（土）から22日（火）の3泊4日と、短い期間で行われることになりました。この研修に申し込んだのが、生徒会役員としても活躍している栗田君と斉藤さんです。例年山門高校はこの研修に申込み、年によっては不合格者も出るなか、今年は2人とも見事合格しました。

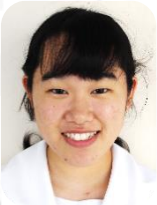


2年1組　栗田　望稔
弓道部
（大川東中出身）

（次世代リーダー塾に向けた、栗田くんのコメント）

私がリーダー塾に応募した強い動機は、世界のハイレベルな高校生とお互いのスキルを高め合いたいと思ったからです。リーダー塾には、私が今まで出会ったことのないようなハイレベルな人達が来て、共にディベートや創作活動ができ、私はそのことにとてもワクワクしています。また、リーダー塾をとおして、積極性と協調性に磨きをかけ、私自身の新たな強み（スキル）を発見し、確立させたいです。

世界で活躍している先生方の講演も受講できるので、受けた講座の内容をしっかり持ち帰り、今後の学校生活に活かしていきたいと思います。



2年4組　斉藤　羽音
弓道部・弁論放送部
（瀬高中出身）

（次世代リーダー塾に向けた、斉藤さんのコメント）

私が今回リーダー塾に応募した動機は生徒会活動にあります。以前活動の一環として、一つのお題に対して討論をした時、先輩方のお話の内容のレベルの高さに追いつけず、黙って聞くことしかできないことがありました。その時自分の未熟さを痛感し、これから先討論をする上で、より良いものを考え出せるようになりたいと思い、リーダー塾に応募しました。私はこのリーダー塾を通して、自分の意見を相手に適確に伝える力や、より良いものを考え出す発想力を身に付けたいと思っています。この二つは今私に足りないものであり、社会で生きていくのに必要な力でもあります。これらを学んで自分を成長させると同時に、少しでも多くのものを持ち帰り、山門高校の活性化に繋げられればと思っています。

↑7月23日は、数学を使って、謎解きのミッションに取り組みました。5つのミッションを解けば、最後の答えが生まれ、その最後の答えで部屋から脱出できるという、脱出ゲーム風な企画にしました。

↓脱出ゲームにふさわしく大掛かりな仕掛けをしました。

今後の日程

8月　7日（金）
第１学期終業式

２１日（金）
第２学期始業式

２４日（月）
第２学期朝課外開始